

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	岡山県	市町村名	大学名
派遣日	令和2年8月28日(金曜日) 13:30~16:30 <当日の日程> 12:30 講師とのオンライン接続確認 13:00 連絡協議会受付 13:30 連絡協議会開会 ・義務教育課行政説明 13:45 ・講演 16:15 ・質疑応答 ・参加者間協議 16:30 連絡協議会閉会		
実施方法	派遣 / 遠隔		
派遣場所	岡山県生涯学習センター		
アドバイザー氏名	広島大学大学院 人間社会科学研究科 櫻井 千穂 准教授		
相談者	岡山県教育庁義務教育課 連絡協議会参加者(学校教員、指導主事)		
相談内容	義務教育課主催の「日本語指導が必要な児童生徒の指導に関する連絡協議会」の内容について事前に相談 ○岡山県の現状概要 ・「平成30年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」において、前回調査と比較し、該当児童生徒の大幅な増加はないが、緩やかな増加傾向にある。 ・該当児童が在籍する学校のほとんどが在籍児童生徒数が1~2名の散在地域である。 ・「特別の教育課程」による指導を行っている学校は少ない。 ・日本語指導に関する体系的な指導法についての研修を実施できていない。 ◎アドバイザーからの研修内容への助言 ・外国人児童生徒への指導の概論と実践に生かせる演習を組み合わせた以下の内容の提案を受ける。 〔概論〕 ・基本的な言語習得の理論 ・外国人児童生徒の母語やアイデンティティの尊重 ・学校教育の役割 等 〔演習〕 ・外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLAの実施動画を視聴し、DLAの実施法の概要を把握する。		

(様式3)

	<ul style="list-style-type: none"><li>・外国人児童がDLAを行う場面の動画で、アセスメントの演習を行う。</li><li>・DLAによる日本語能力の見取りに基づく指導計画の立案についての演習を行う。</li></ul>
派遣者からの指導助言内容 (研修内容)	<p>1. 文化的・言語的に多様な子どもの教育 —理論編—</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①言語習得と滞日年数との関係</li><li>②二言語相互依存説</li><li>③複数言語習得の要素</li><li>④学校の中で望まれる支援体制</li><li>⑤マルチリンガル環境におけるリテラシー獲得の教育的枠組み</li><li>⑥自尊感情を育てる学び</li></ul> <p>2. 対話型アセスメントDLA</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①DLAの目的〔評価、支援〕</li><li>②DLAの理論的背景、構造</li><li>③DLAの実施方法、活用</li></ul> <p>3. 文化的・言語的に多様な子どもの教育 —実践編—</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①授業の組み立て：目標設定 現状把握</li><li>②支援のポイント：在籍学級と個別指導との連携 読書指導 母語母文化支援</li><li>③実践事例</li></ul> <p>○概要</p> <p>基本的な理論と具体的な事例を用いた指導の実際について御指導いただいた。外国人児童生徒の母語やアイデンティティを尊重し、それを生かした日本語指導の在り方を学び、これまでの指導を振り返るきっかけとなった。また、DLAは児童生徒の日本語能力を測定するとともに教師にとっては支援・指導計画を考えるためにあり、同時にDLAで行われる対話そのものが児童生徒の学習になっていることを体験的に学ぶことができた。</p>
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<p>今後の取組方針等</p> <p>○指導主事研修会等で、市町村教育委員会への周知徹底を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・外国人児童生徒の在籍がない自治体等における、外国人児童生徒教育についての理解促進</li><li>・外国人児童生徒転入時の受入や日本語指導の流れについての基本的事項の確認</li><li>・「日本語指導が必要な児童生徒」の捉え方の共通理解</li></ul> <p>○関係機関との連携の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育委員会と市町村部局との連携促進</li></ul> <p>○日本語指導リーダー（仮称）の育成の在り方について検討する。</p> <p>（例）リーダーを中心とした研修体制を構築し、先進的に取り組む学校の実践を、研修等により共有したり、国の研修等での学びを伝達したりする。</p>